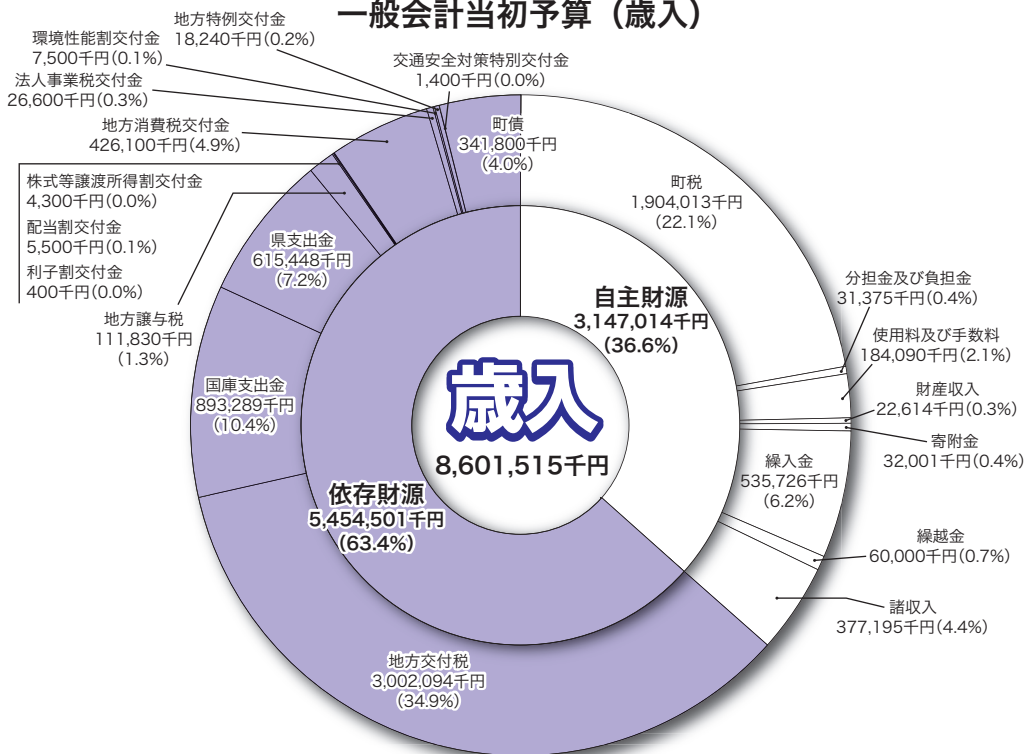


2025（令和7）年度 当初予算概要

令和7年度の予算総額は、139億5,181万円となり、前年度と比較すると7億5,207万円の減、増減率では5.1%の減となっています。また、一般会計の予算規模については、86億152万円となっており、前年度と比較して5億8,829万円、6.4%の減となっています。

会計名	7年度	6年度	対前年比
一般会計	86億 152万円	91億 8,981万円	▲6.4%
特別会計			
国民健康保険特別会計	16億 794万円	16億 7,723万円	▲4.1%
後期高齢者医療特別会計	2億 4,631万円	2億 3,137万円	6.5%
介護保険特別会計	18億 2,158万円	17億 6,198万円	3.4%
町営バス事業特別会計	9,971万円	1億 104万円	▲1.3%
放射性物質対策特別会計	6,839万円	7,479万円	▲8.6%
企業会計			
病院事業会計	1億 1,311万円	1億 5,834万円	▲28.6%
水道事業会計	5億 8,190万円	5億 9,841万円	▲2.8%
下水道事業等会計	7億 8,212万円	8億 6,841万円	▲9.9%
宅地造成事業会計	2,924万円	4,250万円	▲31.2%
総計	139億 5,181万円	147億 388万円	▲5.1%

一般会計当初予算（歳入）



令和7年度の予算総額

139億5、181万円

一般会計当初予算（歳出・性質別）

（注）計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがあります。

- 自主財源**…町が自ら収入することができるお金。町税や施設の使用料、窓口の手数料など。
- 依存財源**…国や県から交付されるお金や借金。地方交付税や補助金、町債など。
- 義務的経費**…支出のうち、その支出が義務づけられ任意に節減できない経費をいいます。極めて硬直性の強い経費です。一般に、人件費、扶助費および公債費の合計をいいます。家計に例えると、家賃や光熱水費、ローンの返済などに似ています。必ず支払わなければならない経費です。
- 投資的経費**…支出のうち、その支出が資本形成に向けられるものをいいます。一般に、普通建設事業費、災害復旧事業費および失業対策事業費の合計をいいます。家計に例えると、家や車を建てるためのお金に似ています。

